

建築・都市



キーワード：上演としての建築、歴史的記憶、価値の発見

教育・研究活動と設計活動を結びつけ、実践的活動を行っています

理工学部 建築学科 特任教授
伊熊 昌治 IKUMA Shoji

1)保存・改修から活用できる建築に向けて

建物の歴史的経緯や時代背景を調査し、価値付けや新たな発掘、コンバージョン等により、地域に貢献できる可能性を探ります。空き家問題や既成のビルディングタイプ等と建築設計の関わり方を再考し、新しい対応策の提案、建築によるまちへの介入の仕方を研究し、実践しています。



居住空間を広げる京町家



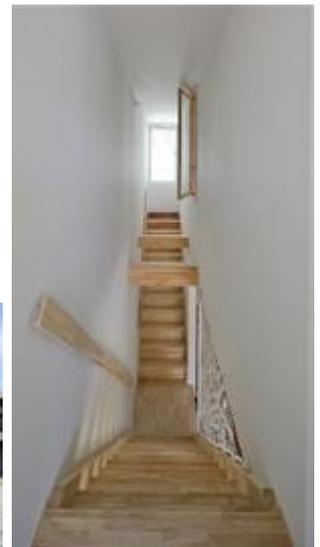
歴史的風致形成建造物指定

2)総合的な演出空間に向けて

木造建築の改修等においては構造補強等検討が不可欠であり、併せて木材の品質や性能についての知識も必要です。また省エネルギー対応義務化等、熱環境負荷や換気等の知識が求められる中で省エネ改修も求められます。このように細分化、複雑化された専門性を総合的に演出・実践できる視点や手法を育み、総合的な建築設計計画につなげています。



音響・照明・環境がつくる劇場空間



家族とまちの時間をつなぐ演出

3)多様化する建築のあり方に向けて

例えば高齢者施設では「家庭的な雰囲気」「昔懐かしい感じ」に重点がおかれませんが、「家庭的」や「懐かしい」という言葉は時代によって変化します。入居者によっても多様であり、その集約・設計への反映が課題だと考えます。実際の状況に即して多様化する今後のあり方を模索しています。



外部と内部をつなぐ環境の演出

産学連携・社会連携へのアピールポイント

- ・ 建築物の歴史や履歴から価値を見出し、地域にその存在保存意義を提示します
- ・ 建築・都市を環境がつくる演出空間とみなして専門性が統合された建築を提示します
- ・ 住宅、福祉施設、ギャラリー等新築・改修を含めて、長く使い続ける建築を提案します

研究室名（建築設計計画研究室）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000700_ja.html

